



絵絹・絹枠サイズ

えぎぬ・きぬわくさいず

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A
B
C

D
E
F

G
H
I

J
K
L

M
N
O

P
Q
R

S
T
U

V
W
X

Y
Z

数
字

絵絹サイズ

種類	長さ	厚さ		
		二丁樋特上	二丁樋重目	三丁樋
一尺幅 (約 30cm)	一疋 (約 23m)	○	○	—
一尺二寸幅 (約 36cm)		○	○	—
一尺三寸幅 (約 40cm)		○	○	○
一尺五寸幅 (約 45cm)		○	○	○
一尺八寸幅 (約 55cm)		○	○	○
二尺幅 (約 60cm)		○	○	○
二尺五寸幅 (約 76cm)		○	○	○
三尺幅 (約 90cm)		○	○	○
四尺幅 (約 120cm)		—	—	○
六尺幅 (約 180cm)		—	—	○
六尺幅 (約 200cm)		—	—	○(特注)

概要

日本画の支持体には、和紙や板等の他にも、絵絹という糸密度が均斉で緻密に織られた絹の布があり、主に軸装などに使用されます。そして、描きやすいように絹面を固定させるために用いる木製の枠を絹枠といいます。

絵絹は、絹の厚さ（縦糸の種類）により異なります。二丁樋（にちょうひ）、二丁樋重目、三丁樋などがあり、数字が大きいくほど厚みが増します。長さは一疋（ひき）＝約 23m、二丁樋、二丁樋重目の幅は一尺（約 30cm）から三尺（約 90cm）まで数種類あります。また、三丁樋は、一尺三寸（約 40cm）から六尺（約 180cm）まで数種類があり、特注で約 2m 幅のものもあります。絹枠の寸法は、描画面としての枠の内寸と画面ヨコになる幅サイズが重要になります。種類としては、尺三、尺五、尺八、二尺などがあり、横物と縦物（長物）と呼ばれる枠の型があります。横物は短辺と長辺の長さに大きな差がない型で、長物は短辺と長辺の長さの差が大きい型をいいます。また、最近では絵画標準寸法規格である F6、F8、F10 というサイズもあります。

絵絹を絹枠に張る際の注意として、描画面は絹枠の内寸までの範囲になるため、絵絹は内寸より 4～6cm 程大きいサイズで裁断して使用します。また、絵絹の耳がヨコになるように張ります。

絹枠（内のり寸法）

種類	長辺 (cm)	短辺 (cm)
尺三横	36.5	30.3
尺三縦	120	36.5
尺五横	12.5	36.5
尺五縦	123	42.5
尺八横	51.6	45.6
二尺横	57.6	51.6